



お金を交換してSDGsのゴール達成を目指す生徒たち

カードゲームでSDGsを学ぶ

高実高
2年生 諏訪

諏訪実業高校（諏訪市）の2年生は、SDGs（持続可能な開発目標）を体験的に学べるカードゲーム「2030へるカードゲーム」2030の16日、SDGsを達成する流

れを仮想体験し、SDGsに理解を深めた。

同授業は、生徒自らが諏訪地域の伝統文化や産業を生かして現代に受け入れられるサービスや企画を生み出すことを狙いに、全3科が取り組む。来週から9講座に分かれ、歴史スポットのコース作りや商品パッケージのデザイン考案、諏訪文化の情報発信などに取り組む。同ゲームは、SDGsを意識して臨んでほしいと導入した。

ゲームは、SDGsに関するワークショップやデジタル教材の開発などを手掛けるポ

ジ◎（マル）ラボ（松本市）代表の丸山亜希さんを講師に実施。生徒は2人一組になり、お金と時間の各カードをチーム同士で交換することで、世界で経済・環境・社会の状況が変わる様子を体験。お金や時間を余分に持っている人を探したり、紹介したりして、クラス全体でよりよい世界をつくらうと一致協力していた。

（平林梨沙）